鳥取県立船上山少年自然の家　主催事業

令和８年度「琴浦町満喫キッズキャンプ」実施報告書

Ⅰ　事業の概要

１．期　日　令和8年8月4日（火）～8月7日（金）3泊4日

２．ねらい

・琴浦町と連携し、長期宿泊体験活動を通して、地域独自の自然を体感し文化を学びながら、自律・友情・協力・奉仕の精神を養い、参加児童・生徒の社会を生き抜く基礎的な能力を養う。

・琴浦町の魅力を存分に満喫し、地域独自の良さを実感することで、地元地域の魅力に興味を持ち、その地域の発展に貢献する力につなげる。

３．参加対象　小学4年生～中学生

４．応募者　61名

５．参加者　35名（大学生サポーター　11名）

６．参加費　12,000円



７．日　程

8月4日（火）		8月5日（水）		8月6日（木）		8月7日（金）	
13:30	出会いのつどい	6:30	起床	6:30	起床	6:30	起床
14:00	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい
14:40	交流レク	7:20	そうじ	7:20	そうじ	7:20	そうじ
15:30	めあての設定	7:45	朝食	7:45	朝食・着がえ	7:45	朝食
15:45	パン作り	9:00	日程・持ち物	9:00	日程・持ち物	8:45	退所点検
	（食堂）	9:15	バス出発	9:15	バス出発	9:00	日程・持ち物
18:00	片付け	9:45	大山乳業着	9:40	鳴り石の浜	9:30	出発
18:30	（完了）	10:00	見学開始	10:30	琴浦町役場2F	10:00	谷川到着
18:40	振り返り	11:20	出発		「ふるさと学習」	11:20	谷川出発
19:10	入浴（40分）	11:40	昼食	11:30	昼食（役場2F）	11:50	帰所・シャワー
20:00	星空観察		（みなとガーデン）	12:50	逢束海岸着	12:30	昼食
21:15	班長会議	12:50	出発		サーフィン、SUP	13:30	感想記入
	（小研）	13:30	サウナ体験	16:00	帰所・シャワー	14:15	別れのつどい
	就寝準備	16:00	帰所・休憩	17:30	夕食	15:00	解散
21:45	就寝	17:30	夕食	18:20	振り返り		
		18:20	振り返り	18:50	ｷｬﾝﾌﾟﾌｧｲﾔｰ打合せ		
		19:00	夜の音探し打合せ	19:20	ｷｬﾝﾌﾟﾌｧｲﾔｰ		
		19:20	夜の音探し	20:20	入浴（40分）		
		20:20	入浴（40分）	21:15	班長会議		
		21:15	班長会議	21:45	就寝		
		21:45	就寝				

Ⅱ　実施状況

■1日目の活動の様子<8 月4日（火）天候　晴れ>

県内外、小学4年生から中学生までの35人が集まり、琴浦町満喫キッズキャンプがスタートした。協力してくれる学生サポーター（以下、サポーター）は11名。交流レクリエーションでは活動班ごとの交流の場面を作り、班員同士が徐々に打ち解けることができた。また、同部屋の友だちとも打ち解けられるように、同じ部屋のグループ活動も取り入れた。

次に一人一人が3泊4日のめあてを立て、班の仲間でそれぞれのめあてを共有した。

夕食は食堂でパン作りに挑戦した。サポーターと協力しながら、工夫を凝らしたパンを作ることができた。また、給食会から提供していただいたシチューや魚のフライもおいしくいただいた。

荒天のため夜の活動は星空観察から「夜の音探し」に変更した。サポーターに音を出す役をお願いし、班ごとに分かれて、暗い中でランタンを頼りに音のする方を探して回った。暗い夜道を歩くとあって、興奮を抑えられない様子だった。

班長会議では、班長だけでなく学生サポーターにも出席してもらい、1日目を終えた感想や翌日の日程、気をつけてほしいことなどを再度、確認した。







■2日目の活動の様子<8月5日（水）天候　晴れ>

2日目は大山乳業の見学からスタートした。町バスを利用して、10時から大きな工場内を案内していただいた。広報の方の説明を聞いたあと、実際に2階からヨーグルトや牛乳を作る工程を見せていただいた。県内の小中学生であれば毎日給食に出る牛乳に興味津々の様子であった。

昼食は琴浦町自慢の海鮮料理（希望者は肉料理）をいただいた。参加者はもちろんだが毎年サポーターにも好評である。お腹いっぱいになった所で、バスで一向平キャンプに向けて出発した。

午後はこれまた琴浦町自慢の「フィンランド式サウナ」を体験してもらった。更衣室で着替えを行い、前後半に分かれてサウナ、水風呂など、リラックスできる時間となった。暑さで疲れた体に、冷たい水が心地よく、癒しの時間となった。

夜の星空観察はこの日も天候がすぐれず、講師の先生の講話となった。







■3日目の活動の様子<8月6日（木）天候　晴れ>

3日目も町バスで移動しての活動となった。鳴り石の浜に移動し、「鳴り石の浜プロジェクト」の上田啓悟氏に案内をしていただいた。ひまわりの花壇や、波によって石が音を立てている様子などについて紹介していただいた。自由時間になると、参加者は石積に挑戦したり水きりをしたりと、思い思いに楽しんでいる様子だった。

次は琴浦町役場に移動し、企画政策課の西村蓮氏から「惑星コトウラ」についての講話を聞いた。「ブランディング」、「キャッチフレーズ」などのキーワードを交えながら、まちづくりについてお話していただいた。参加



者にとっては、鳴り石の浜、役場での講話と琴浦町について学ぶ時間となり、自分自身のふるさとについて考える場面となった。

お昼には琴浦町で代表的な B 級グルメのあごカツバーガーや自然の家の給食会のからあげやおにぎりをいただいた。

昼食後は逢束の海で、サーフィンや海水浴を楽しんだ。これまで、八橋の海で活動を行っていたが、日影がなく今年は初めて逢束の海での活動を行うことにした。今年も講師の方にビックサップを持ってきていただき、全員で乗ることを試みた。同じグループ同士で声を掛け合う姿を見て、仲間づくりにつながると感じた。活動中、参加者の一人が「初めて海で泳いだ」と言っていた。今年も毎日のように熱中症警戒アラートが発令されているため、不要不急の外出を控える家庭が多い。夏の思い出の一つとなったようだ。活動後のスイカも格別であった。

夜はキャンプファイヤーを実施。各指導員がスタンツを一つずつ行ったり、サポーターも全力でスタンツに取り組んだりして、子どもたちも大いに盛り上がった。





■4日目の活動の様子<8月8日（金）天候 くもり>

4日目の最終日は自然の家プログラムの谷川探検を実施した。2つのグループに分かれ、複数の指導員や学生サポーターがグループ内の各所に付き、安全に活動を実施できるよう配慮した。1つのグループは入口付近でターザンロープの活動、もう1つのグループは谷川を登っていき滝つぼに入る活動を行った。この日も暑かったが、ターザンロープや滝つぼでの水遊びを楽しむことで涼を感じる一場面となった。



別れのつどいでは、各班の代表者やサポーターから3泊4日の感想を聞いた。スライドショーで4日間を振り返り、感動的な場面となった。最後に玄関でお見送りをする場面でも、学生と名残りおしそうにお別れする参加者の姿が見られ、3泊4日の活動が充実していたことが伺えた。





Ⅲ　総　括

1．参加者の感想（抜粋）

- 琴浦満喫キッズキャンプ2回目の参加ですが去年とは全く違うスケジュールでとても楽しかったです。私は今年班長を務めました。キャンプファイヤーで火の守をやると決まったときはびっくりしましたが、いざやってみるとすごく楽しかったです。みんなも終わった後、満足そうな笑顔で、こっちも嬉しくなりました。この4日間、たくさんの人にお世話になりました。また会える日を楽しみにしています。
- この「満喫キッズキャンプ」に参加して本当に良かったと思いました。一番楽しかったのは谷川探検です。理由は、滝まで行く道も疲れたし、何回もこけてイライラしたけど、滝つぼダイビングは気持ちよかったです。絶対来年も参加したいです。
- はじめは、皆と仲良くできるかドキドキしたけど、2日目、3日目になると気兼ねなくしゃべれるようになりました。一番楽しかった活動はパン作りです。こっそり味見する人やミニパンを作る人がいて、おもわず笑ってしまいました。





学生サポーターの感想（抜粋）

- 今回の活動で良かったところは「子どもと深く関われた」という点です。活動中だけでなく、活動以外の時間も子ども達と会話し、仲を深めることが出来た。また、こちらから積極的にコミュニケーションをとることで子どもも本音も話してくれるようになった。
- 班の中に自分の意思を通そうとする子がいたため、声掛けに躊躇する場面があったが、その子も日が経つに連れ、話を聞く姿勢になるのが早くなり、成長が感じられた。今まで継続的に同じ子どもに関わることがなかったため、初めて「1日目は様子を見て、2日目に指導方針を立てて･･･」といったような自分の関わり方を実践できた。この経験を今後の活動に生かしたい。
- 今回、船上山少年自然の家の企画に初めて参加しました。参加して感じたことは、キャンプ中は常に子どもたちのことを考えていたということです。活動中に子どもたちをよく見て、適切な行動をとるように考えたことはもちろん、夜、子どもたちの就寝後同室のサポーターと子どもそれぞれの特徴について話をし、どう対応すればよいか話し合いをもつことができました。











2. 成 果

- 一向平でのサウナ体験など、新たに琴浦町で人気の活動を取入れることができ、より琴浦町の良さを参加者に知っていただくことができた。また、感想も概ね好評であった。
- 例年、海の活動を八橋で行っていたが日陰があり熱中症になりにくい逢束で行った。暑さで体調不良を訴える参加者はほとんどいなかった。

3. 課 題

- 海での活動は大変好評であったが、クラゲに刺されたという報告を後日受けた。海での活動は安全面も含め今後再考する必要がある。
- 参加者に満足していただける、尚且つ新しいプログラムを考えるとなると、どうしても職員の負担が大きくなってしまう。夏の暑い時期を考えると参加者や職員が無理なく安全に活動できるような内容を考えていきたい。
- 参加者の忘れ物が目立った。最終日は自分の持ち物を確認できるようなゆとりのある時間設定が必要。